

八女消防本部

YAME FIRE DEPT.



その一歩が、誰かの「命」を繋ぐ。

管轄区域

当消防本部は、福岡県の南西部に位置し、八女市及び広川町の1市1町で構成され、南は熊本県、東は大分県との県境を有しています。

管轄面積は、福岡県の約1割にあたる520平方キロメートル（福岡県下消防本部で最大の面積）を有しています。

管轄人口

八女市：59,205人

広川町：19,060人 合計：78,265人

※令和7年4月1日現在

管轄図

1本部3署4分署

消防職員：126名(女性隊員3名)

緊急車両：25台

災害件数 令和6年中

火災：30件

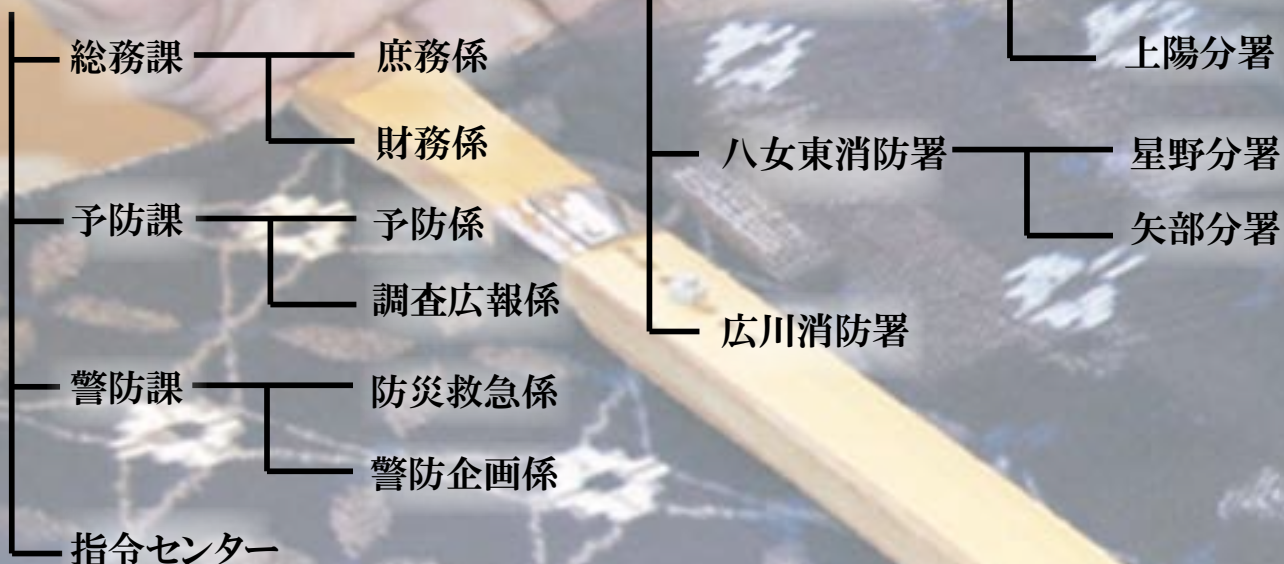
救急：4,663件

救助：72件



組織図

消防本部





このまちが、好きだ。

広がる茶畑、歴史ある町並み、豊かな自然、歴史ある伝統
工芸。八女・広川には、守りたいものがたくさんある。人々
は穏やかに暮らし、祭りがあれば笑い合い、日々を積み重ね
てゆく。そんな何気ない毎日が、かけがえのないものだと思
う瞬間がある。

温かい人の繋がり、美しい風景、守りたいものが、ここ
にはある。

その「当たり前」が、いつまでも続くように。災害から、
人を、まちを、くらしを、いのちを守る。

大好きなこのまちを未来に繋げる。

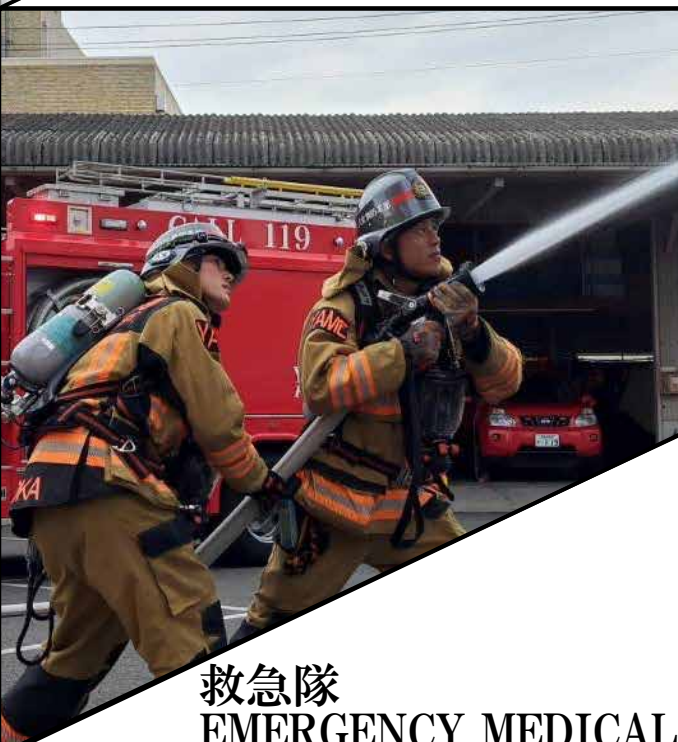


八女消防本部 業務紹介

救助隊
RESCUE UNIT



消火隊
FIRE BRIGADE



救急隊
EMERGENCY MEDICAL SERVICES



通信指令
EMERGENCY COMMUNICATIONS OPERATOR



火災予防
FIRE PREVENTION



ドローン隊
DRONE UNIT



指揮隊
COMMAND UNIT

潜水隊
PUBLIC SAFETY DIVERS



火災原因調査
FIRE CAUSE INVESTIGATION

特殊小隊
TECHNICAL UNIT



予防広報
PREVENTION PUBLIC RELATIONS

消防士の日

8:30

勤務開始
大交代

勤務する班と勤務を終える班が交替し、連絡事項や車両の確認を行います。



10:00

日常勤務

12:00

休憩（昼食）



立入検査や防火教室等、火災や事故を未然に防ぐ活動をしています。

13:00

日常勤務

15:00

災害対応訓練

様々な災害に備えるため、日々各訓練を行います。



18:00

休憩（夕食）

20:00

事務処理



担当業務の事務処理
災害活動の報告書作成等行います。

22:00

仮眠、受付勤務

みんなで夕食作りから食事をして、チームワークを築きます。この日のメニューは、ぶっかけうどん・炊き込みご飯です。



8:30

勤務終了
大交代

様々な活動をしているますが、災害が発生すれば迅速に出動します。※仮眠中にも出動します。

先輩職員からメッセージ



中川原 夕紀（平成 19 年採用）
福岡県朝倉市出身



～もっと女性が働きやすい職場にしたい～

私は、専門学校で救急救命士の資格を取得し八女消防本部に入職しました。正直、体を動かすことは得意ではなかったので心配もありましたが、努力と仲間との協力で頑張ることができています。救急等の現場だけでなく総務課で財政担当としての業務も行っており、各署の女性施設の整備に取り組んでいるところです。

休みの日は、子供たちとキャンプに行くなどしてリフレッシュしています。家庭と仕事の両立は大変ですが、充実した毎日を送っています。これから更に女性が働きやすい職場環境づくりに努めていきます！受験される女性の皆さんお任せください！！



秋山 真大（令和5年採用）
福岡県八女市出身



～経験を活かして、地元に恩返し～

高校卒業後、他県の消防本部に入職し3年間務めた後、やはり地元で仕事がしたいという思いで八女消防本部を受験しました。初めは不安もありましたが、仕事のやり方に多少の違いはあっても「人の命を守る」という消防の任務はどこでも同じです。今は特別救助隊として、また広報担当として頑張っています。

広報では、主に SNS で防災に関する情報や八女消防本部の情報を発信していますので、掲示している SNS を一度覗いてみてください。採用試験に関する情報も随時アップしていきます！フォローをお待ちしています！！



木下 僚太（令和3年採用）
福岡県八女市出身



～オンとオフの切り替えを大切に～

消防士になることが子どもの頃からの目標でした。今は特別救助隊隊員として頑張っています。救助技術指導会では九州大会に出場することができ、全国大会に向けて訓練中です。

消防職員は、やりがいのある仕事であるというのが一番ですが、プライベートの時間が充実していることも魅力の一つです。非番休日は同僚とサバゲーやツーリングなどを楽しんで、仲間との絆を深めながら明日の業務への活力にしています！



